

もに、利用相談や情報発信を進めます。

木質バイオマス発電に向け燃料用チップの安定供給を推進します。

戦後、造成された人工林が約3万ha、そのうち46年生以上が約2万haを占め、成熟しつつある。そうした人工林資源を有効に活用するため、林業経営に適した北部地域の人工林においては、森林施業の集約化、高密度な路網の整備や高性能林業機械の導入、林業事業者並びに担い手の育成強化等を推進するとともに、これまでの搬出間伐に加え、主伐・再造林等の森林整備と効率的な原木生産体制の整備に取り組み、林業の生産性向上を図ります。

これらの施策を推進することにより、森林所有者への利益還元を可能にし、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが実現する「資源循環型林業」をめざします。

条件不利地にある人工林は、環境保全を重視し、森林環境譲与税等を活用した間伐の取組を推進します。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
素材生産量 (千m ³)	38	39	39	39	39	40	



使用木材の9割に町内産を活用した木造住宅（神河町）
※高強度仕口（TajimaTAPOS）加工



高性能林業機械を活用した木材の搬出
（神河町）

5 豊かな海と持続的な水産業の実現

「豊かな海の再生」をめざし、漁業者による海底耕うんを始めとした豊かな海創生活動による藻場や浅場等の生物生息環境の保全・回復、環境部局と連携した海ゴミ回収やマイクロプラスチック対策等の取組を推進します。また、改正「瀬戸内海環境保全特別措置法」及び「環境の保全と創造に関する条例」に即し、管内各市町の下水处理場の栄養塩管理運転へのさらなる協力を求める等、森・里・ため池・川・海が連携した陸から海への栄養塩供給を促進します。

海域の生産力の底上げをめざし、魚介類の産卵・育成場（藻場）等の整備、老朽化した増殖場の機能を回復・強化に向けた調査研究開発を進めます。また、豊かな海の再生に効果が期待できるナマコ・アジアカエビの量産化・放流等、水産資源の添加だけでなく環境改善効果を追加した新たな栽培漁業を展開します。

改正漁業法に即し、科学的な資源調査に基づく漁獲可能量の設定等、新たな資源

管理システムにより、持続的な水産資源の利用に向けた資源管理を推進します。

漁船等の貸与制度により、新規漁業就業者等の負担を軽減するとともに、関係機関と連携しながら、漁業現場での長期研修等を支援し、次世代を担う漁業者の確保・育成を推進します。また、収益性の高い漁業の実現や将来の漁村をリードする漁業者等を育成するため、「大輪田塾」等を活用した人材の確保・育成を推進します。

持続的な漁業の実現のため、収益性の向上と適切な資源管理の両立に向けた取組や複合経営をめざす漁業者等に対し、漁船やエンジン・漁具等をリースして、沿岸漁業の収益性の向上を図ります。

ノリ養殖の収益性の向上に向けた品種改良、品質向上及びカキ養殖の販路拡大等の対策を総合的に推進します。また、養殖業の成長産業化に向け、サケ科魚類（ローカルサーモン）の育成の効率化や県産アサリ種苗の養殖技術等、新技術の開発と普及を推進します。

さらに、持続的な漁業の実現のため、収益性の向上と適切な資源管理の両立に向けた取組や複合経営をめざす漁業者等に対し、漁船やエンジン・漁具等をリースして、沿岸漁業の収益性の向上を図ります。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
漁場環境改善面積 (ha)	309	335	346	352	357	363	



石材礁の造成イメージ



イカナゴ漁の操業状況

6 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

人口減少等により国内需要量が減退する中、新たな需要先となる海外市場への農畜水産物の輸出を推進します。

近年、最新の食品衛生・食品安全に配慮して整備された食肉センターにおいて、EU域内、米国、豪州、中国、東南アジアや南米等へ向けた輸出認可を受けた施設として、神戸ビーフを筆頭に和牛肉の輸出量が順調に伸びており、今後ともその優位性を活かしながら、広域の和牛集散市場としての位置づけを確保し、さらなる輸出拡大をめざします。

県内で生産され、安全・安心で個性・特長がある兵庫県認証食品については、刷

新たなロゴマークを活用し、引き続き、消費者や実需者への認証食品への理解・認知度向上に努め、県産農畜水産物の消費拡大を図ります。

また、農林漁業者等が自らブランディングを行っている商品についても、認証食品と併せてPRすることにより、有利販売・販路拡大に結びつくよう推進します。

さらに、農林漁業者の所得向上をめざし、異業種連携等による6次産業化を推進します。各地域の市町や関係機関と連携を強化して、特徴的な産地・品目の将来像を描き、その実現に向けて、生産・加工・流通・消費を結びつける新たな仕組み（フードチェーン）づくりを推進するとともに、消費者等が魅力を感じる商品づくりによる販路の拡充と新規開拓に取り組める体制づくりを支援します。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
兵庫県認証食品認証数（品目）	438	433	437	441	445	450	



和牛マスター食肉センターにおけるせりの実施状況及び施設の外観

7 食の安全を支える生産体制の確保

農業者の自主的な残留農薬検査により農作物生産工程のチェックを実施し、農産物の生産段階での安全性を科学的に確認する「ひょうごの農産物検査システム」を引き続き、推進します。

また、農薬使用者等を対象とした研修会・講習会の開催や農薬販売業者、ゴルフ場、防除業者への立入指導により、生産履歴記帳や農薬の安全かつ適正な使用を推進します。

農業経営の改善や危機管理対策等、農業者が適正かつ安全な農業生産を実現するための有効な手法として、GAPに関する情報提供や啓発指導等を行います。

畜産物の安全性の確保の観点から、畜産農場においてHACCPの考え方を採り入れた衛生管理手法（農場HACCP）の導入を推進します。また、畜産物生産活動の持続性を確保するため、食品安全や家畜衛生、環境保全、労働安全、アニマルウェルフェア等の取組により、より良い生産工程管理を実現する畜産GAPを啓発指導するとともに、畜産GAP指導員の育成を図ります。

家畜伝染病予防法に基づく検査や飼養衛生管理基準の遵守指導を強化し、家畜伝

染病の発生予防やまん延防止を図ります。

また、口蹄疫、豚熱、鳥インフルエンザ等の重大家畜伝染病の監視診断体制を強化するとともに、万一の発生時、迅速に初動の防疫措置を実施できるよう防疫訓練や関係機関を参集範囲とする連絡会議等を実施し、防疫体制の強化を図ります。

県産水産物の安全を確保するため、アサリやマガキ等の二枚貝の貝毒蓄積状況や原因プランクトンのモニタリングを実施し、県民への情報提供を推進します。

また、より効果的にリスク管理できる貝毒監視体制の整備や、貝毒原因プランクトンの発生動向の把握等による、養殖のリスク低減手法を検討します。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
兵庫県認証食品認証数（品目）【再掲】	438	433	437	441	445	450	



農薬の適正使用講習会の実施

基本方向2 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

8 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

地域ぐるみの農業生産活動や環境保全活動による集落機能の維持・保全、地域産物の活用や高付加価値化をめざした農産物の生産や農業・農村関連ビジネスの展開等を推進し、中山間地域をはじめとする農村コミュニティの活性化を図ります。

都市と農村が近接する中播磨地域の強みを活かし、田園回帰、定住を志向する都市住民等を対象に、遊休農地を活用した農園整備等、空き家・農業体験民宿の改修に対して支援するとともに、市民農園の開設や多様な主体による都市農地の活用・保全を推進します。

農村地域の多面的機能の発揮を促進するため、農地や水路・ため池等の農業用施設等の地域資源の維持・保全に向け、多面的機能支払制度・中山間地域等直接支払制度を活用し、非農家も含めた、地域ぐるみの取組に対し支援します。また、「田んぼダム」やため池等の事前放流による、洪水被害の軽減に取り組みます。

農業・林業の鳥獣被害を防止するため、野生動物ごとの管理計画に基づき、捕獲等による適正な個体数管理、被害発生地域やその周辺での獣害防護柵設置による被害管理を行うとともに、捕獲等に従事する担い手の確保・育成を図ります。特に、捕獲に関しては、センサー利用により現場に行かなくても、スマートホン画面を見

ながら捕獲できる檻や捕獲した場合にメール等で通知するシステム等、ICT技術を活用した効率的な捕獲を推進します。

また、野生動物の主な生息地となる広葉樹林の育成や保護により生物多様性の保全を図るとともに、人と野生動物との棲み分けを図る緩衝地帯(バッファゾーン)を整備することで、集落への出没抑制、人と野生動物との共存を図ります。

さらに、シカ肉処理加工施設「夢咲鹿工房」(姫路市夢前町山富)を拠点に、シカ肉の有効利用に向けた体制づくりを推進します。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
野生鳥獣による農林業被害額(百万円)	40	37	36	34	33	32	



地域ぐるみでの地域資源・環境の保全活動

9 農山漁村の防災・減災対策の推進

近年の局地的かつ記録的な集中豪雨等の自然災害から安全・安心な生活を確保するため、「ため池定期点検」や「耐震調査」等の実施結果を踏まえ、防災・減災対策上、緊急性が高いと判断された農業水利施設(ため池・疏水・井堰・樋門)について、施設の整備・改修や統廃合、長寿命化等を計画的に推進します。

ため池の点検等により対策が必要と判断された場合、管理者による保全計画の作成や必要な措置の実施、ハザードマップの作成・周知等による情報の提供や防災知識の普及・啓発を進め、住民の防災意識の喚起を図り、地域防災力の向上を図ります。

また、山地災害危険地区の着手率を向上させ、治山ダム等の重点整備を進める等、「山地防災・土砂災害対策」を推進するとともに、森林整備事業を積極的に実施して、健全な森林を育成することにより、森林の公益的機能の維持増進を図ります。

漁港では、就労環境の改善を図るため、引き続き施設整備を実施するとともに、護岸の耐震化等、生産・流通機能の強化や老朽化した施設の機能保全により、近い将来、発生が懸念される南海トラフ地震等による津波や高潮等の自然災害から、住民の生命や財産を守る防災対策を推進します。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
山地災害危険地区の 防災工事の着手済箇 所数（箇所）	448	458	463	468	473	477	



治山ダム（神河町新田）

10 豊かな森づくりの推進

公的支援により人工林の間伐等、森林管理を徹底する「新ひょうごの森づくり」や森林の防災機能の強化を図る「災害に強い森づくり」を推進するとともに、令和元年度から導入された森林環境譲与税を活用した、奥地等の条件不利地の森林整備等、市町の取組を支援します。

また、保安林制度や林地開発許可制度の適正な運用により、無秩序な立木伐採や森林開発を抑制します。

燃料革命後、利用されなくなった里山林の高樹齢化・大径化により、近年、神河町を中心に被害が拡大しているナラ枯れでは、枯損木の倒木による二次被害の恐れのある区域や被害の著しい地域等において、重点的な駆除対策に取り組み、被害拡大の防止を図ります。新たな被害は見られなくなった松枯れでは、保全すべき公益的機能の高い松林について継続的に適正な防除対策を推進します。

これらの取組により、森林の持つ多面的機能の維持向上、防災機能の計画的な強化や適切な保全を図ります。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
「災害に強い森づくり」 整備済面積（ha）	4,900	5,500	5,700	6,000	6,200	6,400	



災害に強い森づくり[里山防災林整備]
 一人家裏山の危険木等伐採—
 (姫路市)

基本方向3 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

11 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

地域農畜水産物を取り扱う大小様々な規模の直売施設、農林漁業体験施設や地産地消レストラン、さらに、農家民宿や史跡・観光施設等を拠点として、地域農畜水産物・農山漁村の良さを認知してもらえるような情報提供を行い、インバウンド需要も視野に入れつつ、地場産物の購入機会の拡大及び交流人口の増加を図ります。

中山間地域の活性化と楽農生活の推進に資するため、関係機関が連携しながら検討を進め、移住者等の農的暮らし（小さな農業）を支援するとともに、都市農村交流による交流人口の拡大をめざし「農泊」への需要喚起や普及啓発を推進します。

また、姫路市・福崎町の市街化区域を有する立地を生かし、多様な実施主体による市民農園の開設を推進し、利用者ニーズに応じた施設整備に対して支援します。

都市農村交流施設や地域楽農生活センター等において、食と健康に関する体験や農作業体験、地域住民との交流やボランティア活動等、多様な「楽農生活」が実践できるよう支援します。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
楽農生活交流人口 (人)	495,000	500,000	505,000	510,000	515,000	520,000	



市民農園（JA農園「旬彩ファーム英賀保」(姫路市)）

12 「農」と多様な分野との連携強化

域内における「農福連携」の取組事例の情報収集や発信を通じて、農業者による農福連携の取組を進めます。必要に応じて、農業技術等への助言指導や地域ブランド認証制度等への誘導により、農業生産力の向上を促します。

管内には、農業関係法人と地元自治会が、大学関係者や医療関係事業者等との連携を通じて、都市住民に対し農業・農村の持つ多面的機能を生かして、健康づくりや癒やしを提供する体験や商品づくり等を推進しており、そうした取組を支援します。

漁協が運行させる大型漁業見学船を活用した漁業見学体験ツアー、漁協やカキ生産者の直売所や定期的で開催される直売市、潮干狩りや地曳き網等の観光漁業について、地域で連携して魅力を発信することにより、来訪者が地域を点ではなく面で楽しめるよう、取組を進めます。

併せて、名物料理や特産品の提供、新商品の開発、地物水産物の販促イベント、漁協女性部による魚食普及への取組等、地物水産物の持つ魅力を常に高水準に保つ取組を支援します。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
農福連携取組件数 (件)	8	9	10	11	12	12	



魚食普及のための料理教室

13 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

消費者が市場流通、直売所、産地直送（宅配）等、多様なチャンネルを通じて、県産農畜水産物等を積極的に選択して購入できるよう支援し、県産県消を推進します。

市場流通では、コールドチェーン化による食の安全・安心の確保、耐震化による物流の強靱化等をめざす、姫路市中央卸売市場の移転整備に対し、支援します。

有機農業実践者等の産地直送販売等の取組を支援するとともに、JAの大型直売所等を拠点とした6次産業化の推進や小規模農家の販売の場の確保と地元消費者等との結びつきを強め、生産者と消費者の顔の見える関係づくりを推進します。

食育として、安全・安心な農畜水産物の大切さ、身近な農林漁業への理解を促進するため、「おいしいごはんを食べよう県民運動」等を推進します。

「ごはん」と同様、魚介類についても健康保持に役立つ成分が多く含まれていることを情報発信しつつ、地域食育推進団体に対する料理教室等を通じて、地元産魚介類の消費拡大を推進します。

名物料理や特産品の提供、新商品の開発、地物水産物の販促イベント、漁協女性部による魚食普及への取組等、地物水産物の持つ魅力を常に高水準に保つ取組を支援します。

また、消費者が適正な食品表示をもとに食品を選択できるよう、食品表示法に基づく品質表示等について、食品関連事業者や消費者への啓発を行うとともに、食品表示に関する監視や指導等を実施します。

生活研究グループ等の協力により、親子料理教室やイベントへの出展等を行い、播磨地域の地域食材を使った料理や農産加工品の普及を進め、生産者自ら「農」と食に関する情報発信を強め、地域や農水産物への愛着を深め、地産地消につなげます。

【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
直売所の利用者数 (千人)	3,459	3,493	3,527	3,561	3,595	3,630	



食品表示に係る巡回調査

(4)行動計画

基本方向 1 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

推進項目	推進方策	(小項目)	取組内容												
スマート化による新しい農林水産業の実現	I スマート農業の展開	1 兵庫型スマート農業技術の開発・実証	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用型作物におけるスマート農業の推進 ・施設園芸における環境制御技術の導入支援 												
		2 スマート農業の普及・定着推進	<ul style="list-style-type: none"> ・先進導入事例等スマート農業技術に関する情報収集及び発信 												
	II スマート畜産業の展開	1 スマート畜産業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・酪農における搾乳ロボット等現場で導入できる先端技術に関する情報収集及び発信 												
	III スマート林業の展開	1 資源情報の共有化と施業の省力化・効率化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地理空間情報やICT等の先端技術を活用した森林施業の効率化・省力化の検討 ・高性能林業機械による効率的な作業システムの構築等の検討 												
	IV スマート水産業の展開	1 水産業におけるICT等の先端技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・産地市場における電子入札システムの導入支援 ・ICT等の活用による漁場環境情報等の共有等による漁業活動の省力化・効率化 												
	成果指標			<table border="1"> <thead> <tr> <th>R1年度(現状)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度(中間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>200</td> <td>300</td> <td>400</td> <td>450</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	R1年度(現状)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(中間)	100	200	300	400	450
R1年度(現状)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(中間)										
100	200	300	400	450	500										
土地利用型作物等における主なスマート農業技術利用面積 (ha)		計画													
		実績													
多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開	I 本県の強みを活かし需要と直結した生産の展開	1 収益性の高い施設園芸の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・葉物野菜の周年安定生産技術の確立 ・育苗期の高温対策による安定生産と品質向上の推進 												
		2 産地の育成・拡大等による野菜の生産拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化による効率的な露地栽培技術の推進 ・実需者等との契約出荷等の推進 												
		3 地域特性を活かした果樹等の高品質・安定生産の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・いちじくの産地力アップ支援 ・果樹の安定生産技術向上と産地拡充 												
		4 県産花きの安定生産の推進と需要創出	<ul style="list-style-type: none"> ・小菊の新規産地の育成 												
		5 需要に直結した主食用米等の生産拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・優良品種の低コスト安定生産技術の確立支援 												
		6 品質の高い酒米の安定供給と需要拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・高品質安定生産技術の支援 												
		7 需要に応じた麦・大豆等の品質向上と安定生産	<ul style="list-style-type: none"> ・麦の品種に応じた施肥技術の確立 ・狭条密植栽培技術の普及(大豆、小豆) 												
		8 主要農作物の優良種子の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> ・種子用水稲・小麦・大豆の安定生産 												
		9 立地を活かした都市農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農地の持つ多面的機能に関する啓発普及 ・都市農業の推進に資する補助事業の情報提供及び事業の執行 												
	II 次代を担う経営力の高い担い手の育成	1 法人化と法人経営の強化等による持続可能な経営体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・法人化による持続可能な経営体の育成 ・ほ場整備事業の推進と合わせた集落営農組織の法人化支援 												
		2 地域ぐるみの新規就農者の確保・定着支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就農希望者セミナー・相談会等を通じた新規就農者の確保 ・就農形態に応じた研修会等による栽培技術等習得への支援 												
		3 集落営農の組織化と経営力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農の組織化と経営力の強化 ・ほ場整備事業の推進と合わせた集落営農組織の法人化支援 ・人・農地プランの実質化に向けた集落での話し合いを通じた将来の営農体制構築の推進 												
		4 企業による農業参入の促進・参入企業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・農地バンクを通じた集約された農地等の情報提供 												
		5 地域産品の活用等による付加価値向上に取り組む組織の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農産物の高付加価値化等を実践する経営体への課題に応じた助言指導 												
		6 経営継承の推進と多様な人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・経営継承の重要性に関する集落営農組織等への情報提供 												
	III 農地利用の最適化と効率的な生産基盤の確立	1 優良農地の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域制度・農地転用許可制度の適正な運用 												
		2 農地の集積・集約化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランの作成や実質化に向けた推進 ・市町(農業委員会)と中間管理機構等との緊密な連携による担い手等への農地の集積・集約化 												
		3 ほ場の大区画化・高機能化	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的かつ安定的な農業経営の実現をめざしたほ場整備事業の推進 												
		4 農業水利施設の長寿命化・機能更新	<ul style="list-style-type: none"> ・機能診断の的確な実施及びライフサイクルコストの縮減と施設の長寿命化 												
		5 生産基盤の維持管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランの作成や農会等での話し合いを通じた、将来の維持管理体制の構築 												
		6 荒廃農地の発生防止と再生・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」の実施等を通じた実態把握及び再生・活用に向けた支援 ・荒廃農地の再生等に係る補助事業の情報提供及び事業の執行 												

基本方向 1 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

推進項目	推進方策	(小項目)	取組内容					
2 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開	IV 地域の多様な人材が支え合う持続可能な地域協働体制の確立	1 集落ぐるみで農地の活用・保全等を行う取組の推進	・条件不利地域等での「いきいき農地バンク方式」による農地利用・保全の推進					
		2 役割分担による地域特産物等の生産サポート体制の構築	・大型機械による新たな地域特産物(たまねぎ、じゃがいも等)の定植・収穫作業の分業化推進					
		3 地域が農業を支える地域支援型農業(CSA: Community Supported Agriculture)の推進	・CSAの推進に資する補助事業の情報提供及び事業の執行					
	V 環境創造型農業(人と環境にやさしい農業)の取組拡大	1 省力かつ実用的な技術の開発・普及	・土づくり技術、化学肥料低減技術、化学合成農業低減技術の推進 ・直接支払制度(第2期)を活用した環境創造型農業の取組支援					
		2 経営として成り立つ有機農業の取組拡大	・若手農業者等の連携による経営として成り立つ有機農業の取組拡大への支援					
		3 有機JAS認証等需要に対応した有機農産物の流通・販売促進	・ひょうご安心・推奨ブランドの認証、有機JAS認証の取得に向けた推進 ・環境創造型農業により生産された農産物販売力の強化支援					
		4 消費者等のさらなる理解を促進	・ひょうご安心・推奨ブランドの認証、有機JAS認証の取得に向けた推進 ・消費者との交流活動への支援 ・環境創造型農業推進ファーム参加への働きかけ					
	成果指標		R1年度(現状)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(中間)
	麦・大豆・小豆生産面積(ha)	計画		1,046	1,066	1,087	1,107	1,128
		実績	1,025	1,068	1,030			
	新規就農者数(人)	計画		20	20	20	20	20
		実績	8	11	9			
	集落営農組織化集落数(集落)	計画		138	142	146	150	154
		実績	134	125	124			
	ほ場整備事業面積(ha) 【新規】	計画		3,510	3,530	3,550	3,570	3,590
実績		3,478	3,510	集計中				
ほ場整備事業面積(ha) 【再整備】	計画		115	120	125	130	135	
	実績	106	108	115				
実質化された人・農地プラン策定集落数(集落)	計画		145	150	155	160	170	
	実績	69	105	104				
有機農業取組面積(ha)	計画		155	158	161	164	168	
	実績	152	120	124				
3 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化	I ひょうごの畜産を支える多様な担い手の確保	1 法人等の参入や規模拡大の支援	・各種補助事業や制度資金の利用による規模拡大支援					
		2 新規就農者および畜産後継者等の担い手の確保・育成	・継承可能な畜舎施設等の情報把握					
	II 但馬牛の増頭と但馬牛・神戸ビーフの生産拡大	1 但馬牛の増頭対策	・MSAS(育種価)の活用や子牛育成技術の向上支援					
		2 但馬牛・神戸ビーフの品質強化	・「但馬牛肥育マニュアル」を活用した肥育技術の向上支援 ・食肉市場でのおいしさ指標であるモノ不飽和脂肪酸等の表示販売					
		3 但馬牛・神戸ビーフのブランド力の強化と世界への発信	・食肉センターを拠点とした但馬牛のブランド化推進					
	III 牛乳・乳製品の生産基盤強化	1 牛乳の生産拡大	・搾乳ロボット等の導入による省力化推進					
		2 新鮮で高品質な県産乳製品の生産拡大と需要拡大	・牛群検定や飼養管理技術の改善による乳質乳量の向上支援					
	IV 高品質な鶏卵・鶏肉・豚肉の安定生産	1 ブランド鶏卵・鶏肉・豚肉の生産とPR	・飼料米やエコフィード給与等、個性ある鶏卵・豚肉の生産拡大支援					
		2 6次産業化の促進	・鶏卵加工品や農場併設直売所・カフェ等の情報発信					
	V 高品質な堆肥の生産と広域流通・耕畜連携の推進	1 高品質な堆肥の生産	・堆きゅう肥共励会等への参加促進による品質向上					
		2 堆肥の広域流通と耕畜連携の強化	・畜産農家と広域営農法人等との連携促進					
	成果指標		R1年度(現状)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(中間)
	県認証食品(鶏卵・鶏肉・豚肉)の生産量(t)	計画		840	855	870	885	900
		実績	825	825	2688			

基本方向 1 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

推進項目	推進方策	(小項目)	取組内容						
4 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進	I 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化	1 県産木材の利用拡大	・TajimaTAPOS技術の啓発普及及び工務店やプレカット工場への技術利用の働きかけ						
		2 県産木材の安定供給体制の強化	・JAS製品の利用促進や未利用材を含めた素材生産の促進						
		3 木材製品の生産拠点の形成と輸出促進	—						
	II 森林資源の循環利用と林業経営の効率化	1 人工林の適正な整備の推進	・森林施業の集約化と計画的原木生産のための森林整備の推進						
		2 林業生産基盤の強化	・高密度路網整備、高性能林業機械の導入の推進						
		3 魅力あふれる林業経営体の育成	・労働安全面の充実等、働きやすい環境整備の支援						
		4 次代を担う新規林業就業者の確保	・県立森林大学校と連携した新規就業者の確保						
		5 主伐・再造林普及モデルの展開	・低コストで効率的な主伐・再造林の普及モデルの構築						
	成果指標			R1年度(現状)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(中間)
	素材生産量(千m ³)		計画	39	39	39	39	40	
実績			38	24	集計中				
5 豊かな海と持続的な水産業の実現	I 豊かで美しい海の再生と水産資源の適正管理	1 適正な栄養塩管理の推進	・栄養塩管理運転実施の下水処理場の拡大						
		2 新たな漁場整備の推進及び既存増殖場の機能回復・強化	・家島地先海域での石材礁整備の推進						
		3 豊かな海の再生に向けた新たな栽培漁業の展開	・漁業者ニーズを踏まえた種苗放流の推進						
		4 科学的な資源調査に基づく資源管理の推進	・資源管理計画に基づく漁業者の自主的な資源管理の推進						
		5 日本海における漁業秩序の回復	—						
	II 漁業の担い手確保と経営力の強化	1 経営感覚に優れた後継者等の確保・育成	・収益性の高い漁業を実践できる漁業者の育成 ・意欲ある新規就業者の確保						
		2 漁業者の所得向上	・ノリ養殖の総合対策の推進及び経営規模の大型化や複合養殖等の地域特性を活かした養殖経営モデルの確立支援						
	成果指標			R1年度(現状)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(中間)
	漁場環境改善面積 (ha)		計画	335	346	352	357	363	
			実績	309	338	341			

基本方向 1 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

推進項目	推進方策	(小項目)	取組内容	
6 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上	I 更なるブランド戦略の展開	1 ブランド戦略の推進	・ブランド戦略品目の選定に係る情報収集及び当該品目のPR	
		2 兵庫県認証食品のプロモーション強化と流通拡大	・プロモーション品目の選定に係る情報収集及び当該品目のPR ・ひょうごの美味し風土拡大協議会事業への参加の呼びかけ	
		3 首都圏向け販路開拓の推進	・販路開拓が必要な品目の選定に係る情報収集及び取組の推進 ・ひょうごの五国のめぐみ首都圏発販路拡大事業への参加の呼びかけ	
		4 輸出国・品目の拡大等による輸出促進	・食品の輸出促進に資する補助事業の情報提供及び事業の執行	
	II フードチェーンづくりと高付加価値化の支援	1 生産から消費を結ぶ新たな仕組みづくり	・「メイドイン中播磨」農林水産物、加工品等の販売、流通の推進 ・農商工連携によるブランド化、需要拡大の推進 ・CSAの推進に資する補助事業の情報提供及び事業の執行	
		2 高付加価値化に係る支援	・6次産業化の推進 ・ひょうご食品認証制度への参加や認証取得の働きかけ ・商品の高付加価値化をめざすための補助事業の情報提供及び事業の執行	
	III 新たな価値の創出	1 異業種連携の推進	・「農」イノベーションひょうご推進協議会への参加の働きかけ	
		2 6次産業化の推進	・県産農林水産物を活用した新たなビジネスの創出を考える生産者等への情報提供及び補助事業の推進	
	成果指標			R1年度(現状) R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度(中間)
	兵庫県認証食品認証数(品目)		計画 実績	428 308 305 441 445 450
7 食の安全を支える生産体制の確保	I 安全で適正な農業使用の推進	1 「ひょうごの農産物検査システム」の推進と農業管理指導士の育成	・農業の安全使用に関する研修会等の開催による啓発普及 ・適正な生産履歴記帳の推進	
		II 生産段階における適正な生産工程・衛生管理等の導入拡大	1 GAP(農業生産工程管理)の推進 2 ひょうご食品認証制度の推進	・GAP第三者認証取得支援に資する補助事業の情報提供 ・GAPの取組に係る生産者等への情報提供及び適切な助言・指導等の実施 ・ひょうご食品認証制度への参加や認証取得の働きかけ ・新規認証申請、認証更新申請時等の事務支援及び助言指導
	III 畜産農場におけるHACCP対応や畜産GAPの取得の推進	1 安全・安心で消費者に信頼される畜産物の生産拡大	・畜産GAP指導員の育成 ・農場HACCP、畜産GAPへの取組や第三者認証取得に向けた支援 ・畜産GAP第三者認証取得支援に資する補助事業の情報提供	
		IV 口蹄疫や豚熱、鳥インフルエンザ等重大家畜伝染病の発生・まん延防止	1 家畜の飼養衛生管理の徹底	・家畜飼養農場への全戸立入検査の実施 ・家畜飼養衛生管理基準の遵守指導の実施
	2 発生に備えた対策の強化		・非常時の初動における迅速な対応に向けた、平時の防疫訓練や防疫作業者研修会、関係機関を構成員とする連絡協議会等の開催 ・防疫マップデータの随時更新	
	3 監視診断対策		・農場や獣医師からの通報に基づく迅速な病性鑑定と緊急立入検査の実施	
	IV 安全安心な二枚貝の流通に向けた貝毒監視体制の整備	1 効率的にリスク管理できる貝毒監視体制の整備	・二枚貝の毒化に対応するための貝毒モニタリングの実施	
		成果指標		
兵庫県認証食品認証数(品目)【再掲】		計画 実績	428 308 305 441 445 450	

基本方向2 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

推進項目	推進方策	(小項目)	取組内容
8 特色を活かした活力ある地域づくりの推進	I 中山間地域における地域活性化の推進	1 地域資源を活かした取組への支援	・中山間地域等直接支払制度第5期対策の適正な取組による条件不利地域の活性化 ・「稲田地域振興法」に基づく取組の推進
		2 UJIターンと連携した定住や就農促進	・田舎暮らし支援に資する補助事業の情報提供及び事業の執行
	II 野生動物の管理や被害対策の推進	1 人と野生動物の共生をめざした個体数管理・被害管理	・野生動物毎の管理計画に基づく適正な捕獲や獣害防護柵の設置への支援
		2 集落ぐるみの鳥獣害対策	・「ストップ・ザ・獣害」への取組の推進 ・ICTを用いた大型捕獲檻等による捕獲の推進
		3 ジビエの利活用の促進	・シカ肉処理加工施設「夢咲鹿工房」を拠点としたシカ肉の有効利用に向けた体制づくりの推進
		4 特定外来生物対策の推進	・市町の防除実施計画に基づく捕獲の推進
	III 農村地域の多面的機能発揮の促進	1 多面的機能の維持・発揮	・農業者を中心とした地域住民の参画による、農業・農村の持つ多面的機能の適正管理の推進
		2 水田やため池の洪水軽減機能の有効利用	・台風シーズンにおけるため池の低水管理や「たんぼダム」用のセキ板使用の推進
		3 農村ボランティア等外部力の受け入れ	・集落機能が弱まりつつある集落に対する、ふるさとむら加入等への呼びかけ
	IV 都市農業を核とした地域づくりの推進	1 都市農地の多様な機能発揮	・都市農地の持つ多面的機能に関する啓発普及
2 多様な主体による農地の活用		・市街化区域内農地における市民農園の開設等の推進 ・市民農園の開設やレベルアップに係る補助事業の情報提供及び事業の執行	
V バイオマスの活用を通じた地域活性化の推進	1 バイオマスの活用の推進	・バイオマスの利活用促進に係る啓発普及 ・バイオマスecoモデル登録制度の登録への働きかけ	
VI 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進	1 内水面における水産資源の培養と環境保全の推進	・河川における水産資源の適切な保全の推進	
成果指標			R1年度(現状) R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度(中間)
野生鳥獣による農林業被害額(百万円)		計画実績	40 37 36 34 33 32 40 70 累計中
9 農山漁村の防災・減災対策の推進	I ため池災害の未然防止とため池避難対策	1 災害の未然防止	・「兵庫県ため池防災工事等推進計画」に基づいた計画的な整備の推進 ・「防災重点ため池の防災工事推進特別措置法」の的確な運用による防災・減災対策の推進
		2 避難対策の促進	・重点防災ため池等におけるハザードマップの作成・周知
	II 山地防災・土砂災害対策の推進	1 山地防災の推進	・治山ダムの計画的な整備
		2 減災対策の推進	・CGハザードマップ公開等による地域防災力向上の推進 ・「豊かなむらを災害から守る月間」運動における施設のパトロール等による防災・減災の推進
	III 漁港の耐震化と津波・高潮防災対策の推進	1 生産活動を支える漁港の整備・保全	・生産・流通機能の強化や老朽化した施設の機能保全の推進
		2 津波・高潮防災対策の推進	・地震による津波や高潮等の自然災害からの防災対策の推進
成果指標			R1年度(現状) R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度(中間)
山地災害危険地区の防災工事の着手済箇所数(箇所)		計画実績	448 458 463 468 473 477 448 459 459
10 豊かな森づくりの推進	I 森林の適正管理の徹底による公益的機能の維持・向上	1 「新ひょうごの森づくり」の推進等による森林管理の徹底	・「ひょうご森づくりサポートセンター」と連携した市町への技術的支援の実施
		2 荒廃した里山林の再生	・地域住民等が自ら行う森林整備活動に対する資機材の購入費等への支援
	II 森林の防災機能の強化を図る「災害に強い森づくり」の推進	1 危険渓流域など人工林の防災機能の強化	・災害緩衝林等の整備
		2 里山・都市山における防災機能等の向上	・危険木伐採等の森林整備や丸太柵工等の簡易防災施設設置の推進
	III 森林病虫害被害対策の推進と保安林制度等の適正運用	1 ナラ枯れ等森林病虫害被害対策の推進	・重要な森林を対象とした効率的・効果的な予防・駆除対策の実施
		2 保安林制度等の適正な運用	・保安林及び林地開発許可制度の適切な運用による森林の多面的機能低下の防止
IV 県民総参加による森づくりの推進	1 社会全体で支える森づくりの推進	・森づくりイベント等の開催支援	
	2 多様な主体による活動の推進	・森林ボランティアの育成や企業の森づくり活動等への支援	
成果指標			R1年度(現状) R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度(中間)
「災害に強い森づくり」整備済面積(ha)		計画実績	4,900 5,500 5,700 6,000 6,200 6,400 4,900 5,725 5,903

推進項目	推進方策	(小項目)	取組内容						
11 食と「農」に親しむ 楽農生活の推進	I 令和の時代のライフスタイルの提案	1 楽農生活実践イメージの発信	*「楽農生活」実践の場や取組に関する情報提供						
		2 次代を担う若い世代への理解促進	*「楽農生活」実践の場や取組に関する情報提供						
	II 楽農生活に誘い、定着を図る仕組みづくり	1 多様な楽農生活実践機会の創出と魅力アップ	*「楽農生活」の推進に資する補助事業の情報提供及び事業の執行 *「農泊」支援に向けた検討及び補助事業の執行						
		2 居住地を越え、互いに支え合える関係づくり	*田舎暮らしや多自然居住地域に関する情報提供						
		3 定住・二地域居住の促進や楽農生活実践の拡大	*田舎暮らし支援に資する補助事業の情報提供及び事業の執行						
	III 楽農生活をサポートする体制づくり	1 兵庫楽農生活センターの機能強化	*兵庫楽農生活センターにおける取組に関する情報提供						
2 地域楽農生活センターの拡大		*地域楽農生活センター開設支援事業の推進及び事業の執行							
成果指標			R1年度(現状)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(中間)	
楽農生活交流人口(人)			計画	500,000	505,000	510,000	515,000	520,000	
			実績	495,000	427,000	458,000			
12 「農」と多様な分野との連携強化	I 農福連携の取組強化	1 農福連携に対する普及啓発	*研究会やセミナー開催に際しての参加者募集の呼びかけ						
		2 農福連携の推進	*いわゆる「農福連携」に資する事業者等に関する情報収集 *研究会やセミナー開催に際しての参加者募集の呼びかけ						
	II 観光分野との連携強化	1 グリーン・ツーリズムの推進	*「農泊」支援に向けた検討及び補助事業の執行 *都市農村交流バス運行支援事業に関する情報提供						
		2 マリンツーリズムの推進	*地域が連携して魅力を発信することにより、来訪者が地域を点ではなく面で楽しめる取組の推進						
	成果指標			R1年度(現状)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(中間)
	農福連携取組件数(件)			計画	9	10	11	12	12
			実績	8	4	6			
13 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進	I 卸売市場を通じた安定供給の確保	1 卸売市場の活性化に向けた取組強化	*姫路市中央卸売市場移転整備に係る補助事業の執行 *兵庫県認証食品の取扱拡充の推進						
		2 卸売市場における管理体制の強化	*姫路市中央卸売市場移転整備に係る補助事業の執行 *上記事業におけるコールドチェーン化の推進						
	II 県産県消の推進	1 県産農林水産物の購入機会の拡大	*直売施設の整備等に係る補助事業の情報提供及び事業の執行 *ひょうご食品認証制度に関する情報提供及び制度参加への働きかけ						
		2 おいしいごはんを食べよう県民運動の推進	*ごはん食や和食の優位性に関する情報提供						
		3 学校給食を通じた県産県消の推進	*学校給食における県産県消に係る補助事業の情報提供及び事業の執行						
		4 畜産物の県産県消の推進	*ひょうご食品認証制度に関する情報提供及び制度参加への働きかけ						
		5 水産物の需要喚起に向けた魚食普及と消費拡大の推進	*料理教室の開催等による啓発普及						
	III 食品に対する消費者の信頼の確保	1 適正な食品表示の推進	*食品表示指導相談員による相談活動や巡回調査の実施 *適正な食品表示に関する啓発普及及び資料の配付						
		2 食品衛生・品質管理手法等の導入促進と企業倫理の向上	*食品の製造・加工施設や卸売市場等における食品衛生管理の強化に係る情報提供 *ひょうご食品認証制度を通じた適時適切な助言指導						
	成果指標			R1年度(現状)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(中間)
直売所の利用者数(千人)			計画	3,493	3,527	3,561	3,595	3,630	
			実績	3,459	3,520	3,423			